

単元名：開国と近代日本の歩み

ロシアとアメリカの発展

(全6時間扱い中 第2時)

授業日時 2019年8月28日(水)第4校時

授業学級 2年C組

授業会場 2年C組教室

授業者

指導者

1) ねらい

奴隷解放によって進んだ工業化に伴う社会の変化が国の発展へとつながったことを理解することができる。

(2) 授業のポイント

- ・産業革命やそれにより変化したイギリス社会について学んだ子どもたちが、なぜ奴隷が解放されたのかについて考える。
- ・奴隷の状況に着目して考える。

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材	時間
導入	1. テレビに表示された奴隷数増加と取引額増加の写真、奴隷解放に関する写真を見比べる。	○「たくさん連れて来られた奴隷たちはどうなりましたか。」 ◇奴隷たちがアメリカ社会の発展にどのような形で寄与したのか、果たした役割に着目してもらう。	13
	【学習問題】なぜ奴隷は解放されたのだろうか。		
	2. 学習問題の予想を立てる。	○「どうしてアメリカでは奴隷が解放されたのか予想してみよう。」 ◇当時の予想が難しい場合は、奴隷にもつイメージから発言するよう促す。	
	【学習課題】奴隷の状況に着目して考えよう		
展開	3. 配布資料から、読み取りを行う。	○「配布資料から分かったこと、考えたことをワークシートにまとめてください。」 ◇作業が進んでいない子がいたら、作業の核となる資料を示す。	13
	4. 資料から分かったこと、考えたことを発表しよう。	○「アメリカ社会で分かったことを教えてください。」 ◇机間指導の際に、生徒が資料をどのようにつなげて読み取っているのか着目し指導を行う。 【評価】奴隷を解放することで工業化を進め、国が発展したことを理解することができる。	14
終末	5. まとめ。	○「今日の授業で分かったことをまとめてください。」 時間の余裕があればラテンアメリカについても触れる。	10